

千葉県少年少女オーケストラ

第26回定期演奏会

2022 **3.27** (日) 13:00開場
14:00開演

千葉県文化会館 大ホール

伊福部 昭

管絃樂のための

「**日本組曲**」より

「**盆踊**」「**七夕**」「**倭武多**」

グリエール

ホルン協奏曲

変口長調 Op.91

ファリャ

バレエ組曲

「**三角帽子**」より

※曲目は変更になる場合がございます。

ホルン: 木川博史 (NHK交響楽団)

管絃樂: 千葉県少年少女オーケストラ

音楽監督: 佐治薫子

©Yuriko Takagi

指揮: **井上道義**



全席指定 1,000円 (消費税込み)

- ・駐車台数に限りがありますので、公共の交通機関をご利用ください。
- ・未就学児の入場はご遠慮ください。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の状況により、座席制限を設ける場合がございます。
- ・障がい者の方の介助者様1名は無料でご鑑賞いただけます。
(千葉県文化会館にお問い合わせください。)

プレイガイド

- インターネット予約 <https://www.cbs.or.jp/>
(画面上でお席をお選びいただけます)
- 千葉県文化会館 043-222-0201
- 千葉県東総文化会館 0479-64-2001
- 青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511
- 千葉県南総文化ホール 0470-22-1811
- 伊藤楽器管楽器工房マイスター船橋 047-495-3000



公益財団法人
千葉県文化振興財団



文化庁

主催: 千葉県 / 公益財団法人千葉県文化振興財団

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) / 独立行政法人日本芸術文化振興会

お問い合わせ: 千葉県少年少女オーケストラ事務局 TEL: 043-222-0077

井上 道義 (指揮) Michiyoshi Inoue, Conductor

1946年東京生まれ。桐朋学園大学卒業。1971年グイド・カンテルリ指揮者コンクール優勝。ニュージーランド国立交響楽団首席客演指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、京都市交響楽団音楽監督兼常任指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を歴任。2007年、ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクトを企画立案、音楽・企画の両面で大きな成功を収めた。(2017年2月、同プロジェクトを収録した「ショスタコーヴィチ交響曲全集 at日比谷公会堂」CD・BOXをリリース。) 2014年4月、病に倒れるが同年10月に復帰を遂げる。2015&2020年全国共同制作オペラ「フィガロの結婚」(野田秀樹演出)、2017年大阪国際フェスティバル「バーンスタイン: ミサ」を自身23年ぶりに、2019年全国共同制作オペラ「ドン・ジョヴァンニ」(森山開次演出)、いずれも総監督として率い既成概念にとらわれない唯一無二の舞台を作り上げている。2016年「渡邊暁雄基金特別賞」、「東燃ゼネラル音楽賞」、2018年「大阪文化賞」「大阪文化祭賞」「音楽クリティック・クラブ賞」、2019年「有馬賞」を受賞。オーケストラ・アンサンブル金沢桂冠指揮者。

オフィシャルサイト <http://www.michiyoshi-inoue.com/>

木川 博史 (ホルン) Hiroshi Kigawa, Horn

1984年千葉県生まれ。9歳より習志野市立谷津小学校管弦楽クラブにて佐治薫子先生のもとでホルンを始める。東京音楽大学1年在学中19歳の若さで、第20回日本管打楽器コンクールホルン部門1位及び審査員特別賞、文部科学大臣奨励賞、東京都知事賞を受賞。第39回マルクノイキルヒェン国際コンクールにおいてディプロマを受賞。大学在学中よりソリストとして東京交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団等と共演する。東京オペラシティリサイタルシリーズ「B→C」、東京・春・音楽祭等でリサイタルを行う。これまでに、サイトウ・キネン・フェスティバル、小澤征爾音楽塾、PMF、草津国際音楽アカデミー&フェスティバル等に参加。2013年大阪市より「咲くやこの花賞」を受賞。東京音楽大学附属高等学校、同大学を卒業。水野信行、畠成裕一、岡本充代の各氏に師事。卒業後、ベルリン芸術大学にてC.F.ダルマン氏に師事。日本センチュリー交響楽団首席奏者を経て、2015年9月よりNHK交響楽団団員。BRASS CODE 12、いづみシンフォニエッタ大阪のメンバー。東京藝術大学非常勤講師。

千葉県少年少女オーケストラ (管弦楽) The Chiba Prefecture Youth Orchestra

1996年に佐治薫子氏を音楽監督に迎え、都道府県レベルでは全国初の少年少女によるオーケストラとして結成され、26年目を迎えた。団員は10歳から20歳までの160名で「よい音で、よい演奏を」をモットーに、土曜・日曜を利用して、県内各地から千葉県文化会館に集まり練習に励んでいる。

演奏活動は定期演奏会、地域演奏会や招待演奏など、県内外で数多く行っているほか、海外での公演も多く、これまでに米国、韓国、ドイツ、ブルガリアで演奏会を行い、好評を博した。また、「にんげんドキュメント」や「どれみふぁワンダーランド」、「題名のない音楽会」などテレビ番組にも多数出演。さらに2012年にはNHK総合、BSプレミアムで放送された山田洋次監督50周年記念番組のバックミュージックを担当するなど活動の幅を広げている。

2009年、これまでの活動が評価され、団体としては初めて「文化の日千葉県功労者表彰の文化功労」を受賞。

最近の活動としては、2019年3月に、1週間に3公演のスケジュールで、東京公演、題名のない音楽会の公開録画、第23回定期演奏会を、井上道義氏の指揮、小曾根真氏のピアノで行った。特に、東京公演では、当時の眞子内親王殿下並びに佳子内親王殿下の御臨席を賜り、サントリーホールにおいて初めての単独公演を行った。2021年3月には、下野竜也氏の指揮、清水和音氏のピアノで、第25回定期演奏会を行い、益々充実した活動を続けている。

佐治 薫子 (音楽監督) Shigeko Saji

1935年木更津市生まれ。1956年千葉大学教育学部音楽科卒業。同年君津市立松丘中学校勤務、リード合奏の指導に情熱を傾け、バッハの音楽を中心に演奏活動をし、「山の中のバッハ」のタイトルで全国放送される。1966年に船橋市立前原小学校へ転任し、リード合奏からオーケストラ音楽への指導に専念した。1976年に習志野市立谷津小学校へ転任し、1984年に市川市立鬼高小学校へ転任した。最後の4年間は再び谷津小学校で過ごし、1996年退職。教職40年間をひたすら音楽教育に情熱を傾け、その間40数回も子ども達を全国優勝に導いている。在職中テレビ・ラジオ出演も多数。また、サントリーホールやNHKホール、東京文化会館大ホール、中新田バッハホール、カザルスホール等での招待演奏、さらにニュージーランドへの演奏旅行も行っている。

退職後1996年4月1日からは、千葉県少年少女オーケストラ音楽監督として活躍している。2006年4月放映のNHK「にんげんドキュメント〜がんこ先生とぼくらのハーモニー〜」では、音楽に情熱を傾ける姿が反響を呼び、2009年10月に再放送された。2007年2月には千葉テレビ「佐藤しのぶ出逢いのハーモニー」に単独出演(2010年3月1日再放送)、また、2009年9月には、NHK-BS2の「どれみふぁワンダーランド」の「匠の技」においてその指導法が紹介された。2017年2月17日にはNHK「ラジオ深夜便」に出演、2019年6月にはテレビ朝日「題名のない音楽会」にてこれまでの指導方針についての話をするなど、テレビ・ラジオの出演も多数。

2016年12月2日にはこれまでの功績を称えられ、文部科学大臣より地域文化功労者表彰【全国表彰】を受賞した。

公益財団法人千葉県文化振興財団特別参与。

HPからも
アクセス
できます!!



Facebook

公財)千葉県文化振興財団 公式ページ
<https://www.cbs.or.jp/>